



東北防衛局広報紙  
(東北6県の防衛に関する情報誌)

# 東北の かなめ

vol. 18  
2012.3.30.



(日米交流事業)  
平成24年2月25日、鍋&スープフェスティバルを開催しました。

## 特集：日米交流「鍋&スープ」フェスティバル

- ・ P - 3 C による海水観測
- ・ 航空事故に備える (三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会開催等)
- ・ 防衛問題セミナー開催 (東日本大震災 音と人の力)
- ・ 広報館ウォッチング
  - ・ 平成24年度防衛省専門職員採用試験日程及び採用までの流れ
  - ・ 東北の自衛隊広報行事



P - 3 C による海水観測



航空機事故対応日米合同図上訓練

がんばろう!東北



防衛省東北防衛局編集委員会編集発行  
宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15  
Tel. 022-297-8208  
ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

### にち兵衛∞



ほっき・いか・  
米・長芋・ごぼう・  
人参・長ネギを七  
福神に例えた料理



「三沢の七福神スープ」

### チームJ. F



ホッキ貝とホウ  
レン草のつみれを  
油で揚げ昆布だし  
汁で煮込んだ鍋



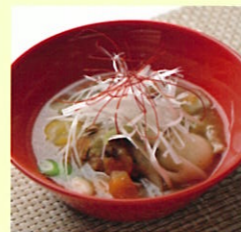
「ほっきつみれ鍋二度おいC」

### グランプリ

### 三沢ブルズ



香る醤油スープ  
に破壊力抜群の  
ミートボールとす  
いとんのコンビ



「ミートボールすいとん」

### 参加者・来場者からのコメント

#### 参加者

- ・思ったより外人の人たちと交流ができた。(日本)
- ・事務局の方がいつも丁寧に対応してくれてスムーズにできた。(日本)
- ・素晴らしいイベントです。  
(原文: great event) (アメリカ)

#### 来場者

- ・このような平素からの関係がトモダチ作戦等につながっていくと思う。今後も日米の行事に取り組んでほしい。(日本)
- ・もっと大規模なフェスティバルに発展するよう祈ります。(日本)
- ・良い企画です。楽しみましょう。  
(原文: Good Program! Let's do Sports!!) (アメリカ)

### となみ



トマトベースの  
アメリカンスープ  
と芋餅との絶妙な  
コラボスープ



「いもっちトマトスープ」

### 元気レディース



チャウダーを  
ベースに三沢の野  
菜を使った長芋す  
いとん



「豆乳チャウダー」

※ 各チームのレシピは、東北防衛局のホームページ (<http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>) に掲載しています。

平成24年2月25日、東北防衛局は、青森県の三沢市国際交流教育センターにおいて、在日米軍人等と三沢市民が交流を通じてお互いの理解を深めることを目的とした、日米交流「鍋&スープ」フェスティバルを開催し、創作料理のコンテストを行いました。このイベントは、在日米軍人等と三沢市民が日米混成チームを結成し、各チームが新たな創作鍋料理や創作スープを発表し、その旨さと出来映えを競いあったものです。

種市一正三沢市長、マイケル・D・ラスティーン米空軍三沢基地司令官及び増田義一東北防衛局長ほか来賓による審査が行われ、参加した5チームが出品した創作料理の中から、ミートボールと長芋のすいとんを具材に使った「ミートボールすいとん」の創作鍋料理を発表した「三沢ブルズ」がグランプリに選ばれました。

当日は、あいにくの吹雪模様でしたが、約1,000食用意した各チームの試食創作料理は、振る舞い開始から40分後には全チーム品切れになるなど、来場者約350人は、日米の食文化がミックスした新感覚料理の味や食感を楽しんでいました。また、青森県弘前市の地方活性化アイドル「りんご娘」のステージショーが行われるなどイベントに花を添えました。

# 特集 日米交流 鍋&スープ フェスティバル

### フェスティバル 2012.2.25



### 試作・試食会 2012.2.11



### 第3回試作・ミーティング 2012.2.4



### 第2回試作・ミーティング 2012.1.28



### 第1回試作・ミーティング 2012.1.21



### 結団式 2012.1.14



# P-3Cによる海水観測

## ―海上自衛隊第2航空群―



海上自衛隊第2航空群は青森県八戸市に所在しており、司令部、第2航空隊、第2整備補給隊及び八戸航空基地隊から編成され、P-3C哨戒機を運用しています。

主要任務として防衛、警備、監視及び災害派遣等を行っていますが、その他に珍しい業務として海水観測等の気象に対する協力を実施しています。

P-3Cによる海水観測は気象庁に対する業務支援として昭和35年から開始し、平成16年度までは年25回を基準として実施していました。しかし、近年気象衛星写真の発達のため、平成24年については1月中旬から4月上旬までの間に10回の観測を実施する予定です。



航空機からみた海水は、日光を受けて大小モザイクのように真白に輝いて、今年は、寒気の影響で例年より海水は厚めで白く見えます。観測された情報は、関係機関に配布し、船舶の航行及び漁船の操業の安全を図るために活用されています。

### ■ 装備品紹介 ■



△ P-3C

P-3C哨戒機は、昭和53年より調達を開始し、第1号機は昭和56年4月に米国で引き渡され、昭和57年3月に実戦部隊が編成されました。潜水艦などを探知するソノブイや赤外線探知システムなど優れた探知能力を保有し、広い海域を長時間飛行できる固定翼哨戒機です。

近年は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処として、航行する民間船舶の護衛、あるいは、上空からの警戒監視や、情報収集などを実施しています。

# 航空事故に備える

三沢飛行場周辺において、航空事故が発生した場合の対処に万全を期すために三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会と日米合同による図上訓練を実施しています。



△ 図上訓練に参加する当局職員

## 三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会開催

平成24年2月2日、東北防衛局は青森県の三沢市公会堂において、平成23年度三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会を開催しました。

この協議会は、昭和52年9月に神奈川県横浜市で発生した米軍機の墜落事故を契機に、三沢飛行場周辺において米軍機自衛隊機又は民間機の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の対処に万全を期するため、毎年度開催しているものです。

協議会では、主催者側を代表して東北防衛局の岩田典郎企画部長が挨拶した後、航空自衛隊三沢基地第3航空団の青柳隆防衛部長が、「航空自衛隊における航空事故対応について」と題し、また、海上保安庁八戸海上保安部の吉田英樹警備救難課長が、「海上における航空事故対応について」と題し、それぞれ議題の説明を行いました。

## 米軍航空機事故対応日米合同図上訓練実施

平成24年2月29日、東北防衛局は青森県の三沢市公会堂において、米軍航空機事故対応日米合同による図上訓練に参加しました。

この訓練は、平成17年4月に沖縄県宜

野湾市で発生した米軍ヘリコプターの墜落事故を契機として、提供施設区域外で米軍航空機事故が発生した場合の日米ガイドラインに基づき、初動対応要領を確認するとともに、日米双方の理解及び協力を深めるために青森県警察本部が主催しているものです。

訓練には、日本側から主催者の青森県警察本部、三沢警察署、三沢市、三沢市消防本部、八戸海上保安部及び東北防衛局三沢防衛事務所、米側から米空軍三沢基地消防隊が参加。今回の訓練は、スクリーンや図上で航空機及び車両等のミニチュアを使い、各機関の動きを表示しながら初動対応訓練を主体とするものでした。

今後、日米の関係機関では、本図上訓練を踏まえ、平成24年度中に実動訓練を実施することとしています。



△ 図上訓練の様子

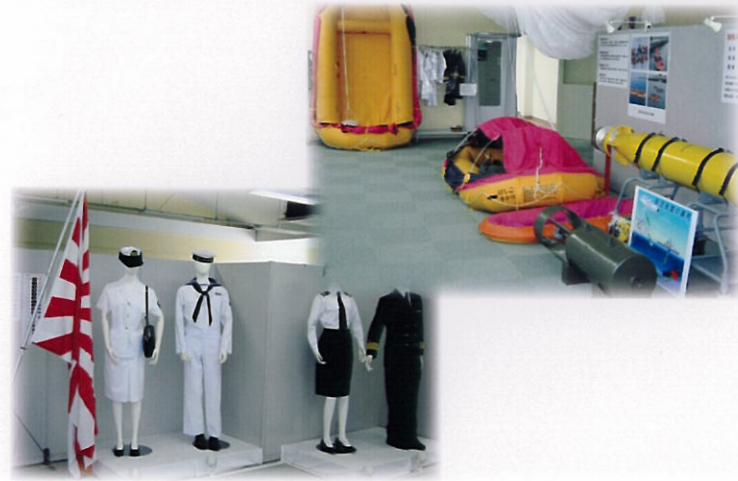
# 広報館 ウォッチング 「八戸航空基地広報資料館 うみねこ館」

青森県八戸市の海上自衛隊八戸航空基地内にある広報資料館「うみねこ館」では、海上自衛隊と八戸航空基地の任務や組織、歴史、活動内容を紹介したパネルと、実物の航空エンジンや訓練用の魚雷、P-3Cのレーダードームが展示されています。

また、実際に航空機に搭載されている落下傘や救命胴衣、海上自衛隊の制服が試着できます。制服は小さいお子様用もあり、試着しての記念撮影もできますので、ぜひお越しください。



開館時間：午前9時～午後3時  
休館日：土曜日、日曜日、祝日  
入館料：無料  
問合せ先：〒039-1180  
青森県八戸市河原木字高館  
海上自衛隊第2航空群広報室  
TEL 0178 (28) 3011 内線2331



# 防衛問題セミナー「開催」

## 「東日本大震災 音と人の力」



北部航空音楽隊による演奏



成田第9師団副師団長



須藤政策補佐官



増田東北防衛局長

平成24年1月26日、東北防衛局は青森県青森市において、第17回目となる防衛問題セミナーを開催しました。

今回の防衛問題セミナーは、音楽演奏と防衛問題セミナーのコラボレーションという初めての試みで、「東日本大震災 音と人の力」をメインテーマに、第1部では、青森県三沢市に所在する航空自衛隊北部航空音楽隊が、東日本大震災後の被災地で慰問演奏を行い被災者を励ました曲を中心に、約45分間の演奏を行いました。

第2部では、陸上自衛隊東北方面総監部の須藤彰政策補佐官が各被災地を回って感じたことや、自らの体験をスライドにより説明。引き続き、陸上自衛隊第9師団副師団長の成田千春陸将補が第9師団の活動状況をスライドとDVDを使用するなど、自らの経験を踏まえた説明を行いました。

会場に詰めかけた聴講者からは、「自衛隊にメンタルヘルスを行う専門の方はいらっしゃるか?」、「今回の震災を受けて、今後に向けた課題等があれば教えて頂きたい。」などの質問があり、各講師から丁寧に分かりやすく説明しました。また、聴講者の中には盛岡市から訪れた方もおられ、「被災地支援での生の声を聞くことができとても有意義だった。」という感謝の言葉を頂きました。その他聴講者から、「自衛隊の活動が良く分かつ

た。」「映像を見て感動した。」「地域住民との普段からの連携の重要性、自治体とのコミュニケーションの必要性の重要性、統率のとれた行動を自治体・企業・団体など見習うべき、参考になった。」などの感想を頂きました。

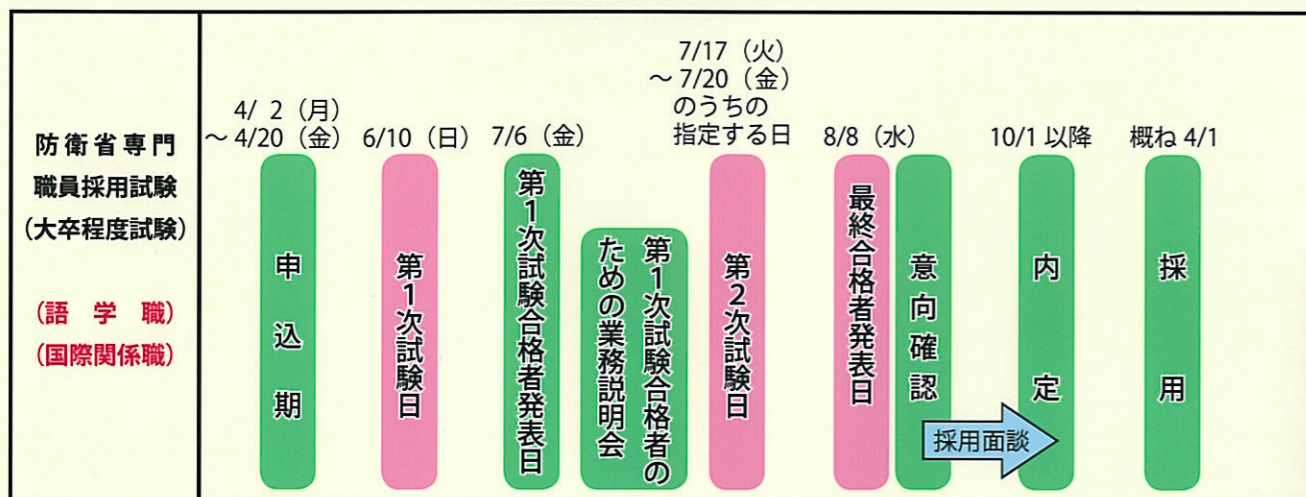
また、当日は、東日本大震災における自衛隊及び米軍の活動状況に係るパネルを展示して、来場者の方々にご覧いただきました。



△パネル展示の様子

## 平成24年度防衛省専門職員採用試験日程及び採用までの流れ

申込期間	平成24年4月2日(月)～4月20日(金)
第1次試験日	平成24年6月10日(日)
第1次試験合格者発表日	平成24年7月6日(金)
第2次試験日	平成24年7月17日(火)～7月20日(金)のうち指定する日
最終合格者発表日	平成24年8月8日(水)



※細部については、防衛省のホームページに掲載しております。(http://www.mod.go.jp/)

また、総合職、一般職試験については、人事院ホームページをご覧ください。(http://www.jinji.go.jp/top.htm)

**- INFORMATION -****東北の自衛隊広報行事**

自衛隊（東北管内）が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
4月	陸 4月13日(金) ～15日(日)	船岡駐屯地桜まつり(一般開放)	船岡駐屯地	船岡駐屯地司令職務室 0224-45-2301(211)
	陸 4月15日(日)	霞目駐屯地創立55周年記念行事	霞目駐屯地	霞目駐屯地司令職務室 022-286-3101(301)
	陸 4月15日(日)	船岡駐屯地創立53周年記念行事及び 第2施設団創隊51周年記念行事	船岡駐屯地	船岡駐屯地司令職務室 0224-45-2301(211)
	陸 4月15日(日)	郡山駐屯地創立59周年記念行事	郡山駐屯地	郡山駐屯地広報室 024-951-0225(284)
	陸 4月18日(水) ～24日(火)	福島駐屯地一般開放	福島駐屯地	福島駐屯地広報室 024-596-1212(204)
	陸 4月21日(土)	仙台駐屯地創設54周年記念行事	仙台駐屯地	仙台駐屯地司令職務室 022-231-1111(3861)
	陸 4月22日(日)	八戸駐屯地創立56周年記念行事	八戸駐屯地	八戸駐屯地司令業務室 0178-28-3111(3807)
	陸 4月22日(日)	弘前駐屯地創立44周年記念行事	弘前駐屯地	弘前駐屯地広報室 0172-87-2111(205)
	陸 4月22日(日)	第6師団創立50周年及び神町駐屯地創立56周年記念行事	神町駐屯地	神町駐屯地職務室 0237-48-1151(5898)
	陸 4月25日(水) ～5月1日(火)	駐屯地観桜解放(1000～1630)	八戸駐屯地	八戸駐屯地司令業務室 0178-28-3111(3807)
	陸 4月28日(土)	多賀城駐屯地創立58周年記念行事	多賀城駐屯地	多賀城駐屯地広報室 022-365-2121(205)
	5月	陸 5月12日(土)	第10回みなとプラスの響き	秋田セリオンプラザ
6月	陸 6月3日(日)	第9師団創立50周年記念行事	青い森公園及びアスパム周辺	第9師団司令部司令職務室 017-781-0161(258)
	陸 6月10日(日)	岩手駐屯地創立55周年記念行事	岩手駐屯地	岩手駐屯地広報室 019-688-4311(367)
	陸 6月10日(日)	さくらんぼマラソン	神町駐屯地及び周辺	東根市さくらんぼマラソン実行委員会 0237-43-1158(202)
	空 6月10日(日)	航空自衛隊東北町分屯基地開庁 18周年記念行事	東北町分屯基地	東北町分屯基地総務班 0175-63-3235(202)

**編集後記**

時日の経つのは早いもので東日本大震災から1年が経ちました。政府を始め各被災地では1周年追悼式が行われ、改めて亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りしたところです。

今回の「東北のかなめ」では、日米交流事業を特集記事として掲載しました。2月25日は現地取材し、鍋・スープの食感も楽しみたいと思っていましたが、わずかに40分で品切れとのことで・・・(残念!?)

平成23年度は震災の関係もあり取材する機会が少なかったのですが、平成24年度はなるべく多く各地へ取材に行きたいと思っています。そして、「東北のかなめ」に対するご意見・ご感想等ありましたら、気軽にお聞かせ下さい。